

佳作

「ミロと森のピアノ」を読んで

荒川区立汐入東小学校六年

石橋 弥音

柳田邦男先生、こんにちは。

先生は、努力して成果を得たことがありますか？私は、この本を読んで自分が努力したことを振り返りました。これから先生に、私が考えたことをお伝えします。

この絵本は、ミロがピアノに出会い、コンサートを開くと今までからかってきた動物たちと友達になることができたという物語です。

私はこの本を読んで、努力すると必ず成果を得るなと思いました。なぜなら、ミロはご飯を食べることも忘れ、ピアノを練習することで、コンサー

トをきっかけに、からかってきた動物たちと友達になったからです。また私の経験も理由の一つです。

私は幼稚園に入ったところからピアノを習っていて今も続けています。小学四年生の秋、その日から約一カ月後にピアノの発表会が待っていました。私は入院中、病気のことも心配でしたが、発表会が近いことや、手が覚えているかが心配でした。ピアノを弾く人は、一日休むだけで三日練習しないと指が戻らないと、よく母に言われていたからです。私は、退院してから本番まで二週間しかない状態でしたが、時間があればピアノを弾いてピアノがきらいになりそうなくらい練習しました。この努力の成果がでて、本番過去一番の発表にすることができました。

私はこのような出来事があり、努力すると必ず成果を得るということを実感しました。今では、失敗したときは努力が足りなかったと考え、そのとき以上に頑張っています。私事ですが、今年受験生で、テストを毎月受けています。時々テストを振り返ることで「もっと正解したい!」と思います。努力しています。実際に点数は次々と上がってきます。

先生は、日頃から成果を得られるよう、いやになるくらい努力していますか。

〓柳田邦男先生からのメッセージ〓

石橋さんも、絵本の物語と自分の経験とを重ね合わせて、努力することの大切さを強調しています。

す。

絵本では、みんなにからかわれていたミロが、ご飯を食べることも忘れて、ピアノの練習をしてコンサートを開いたら、大成功だったので、みんなと友達になれたという内容ですね。

石橋さんも、四年生のとき、ピアノの発表会の前に病気で入院して練習が遅れたけれど、退院してから本番まで二週間しかなかったにもかかわらず、時間があれば練習して、本番では「過去一番」の成功をあげることができたんですね。もうすぐ入学試験。勉強、がんばってください。

私も、八十二歳の今でも、どんな仕事をするときでも、いちばんよい結果を出せるように努力し

ています。